

平成20年度教育研修事業経過等

1 研修委員会について

研修委員会における主な意見は、次のとおりである。

(1) 平成20年2月19日開催

- ① 情報システムのライフサイクルや難易度別の教育研修セミナー案内を実施してほしい。
- ② 当センターの研修とレベルの認定が関連できる情報を提供してほしい。
- ③ 基礎的な情報スキルを身に付ける研修を増やしてほしい。
- ④ 自治体同士の情報交換を中心とした研修を実施してほしい。
- ⑤ 教育研修セミナーの体系を示してほしい。
- ⑥ BCPガイドラインについて研修の中で取り上げてほしい。
- ⑦ 情報システムマネジメントと調達業務に苦慮している。
- ⑧ IT技術の基礎、技術者養成色の強い研修があってもよい。

(2) 平成20年11月18日開催

- ① 全庁的な情報システムについて、コーディネータやマネージメントができる人材の育成を目指している。
- ② 教育研修セミナーについて、スキルやキャリアマップのようなものがあれば参考になる。
- ③ ISMSの認証取得についての研修であれば、テンプレートや素材を提供してほしい。
- ④ 教育研修セミナーのテキストを公開してほしい。
- ⑤ 情報システム分野のセミナーに業務担当部門の職員を派遣するとモチベーションが上がる。
- ⑥ 受講結果の報告については、基本的なデータをフィードバック（どのセクション、どのような階層が受講したか等）することにより、受講者層も広がる。また、各団体の研修担当者も職員へ案内しやすくなる。

2 グループ討議について

(1) グループ討議を取り入れた教育研修セミナー

講義中心の教育研修セミナーについては、受講者同士の情報交換の場を提供するために新たにグループ討議の時間を設けた。

- ① 新任情報化管理者セミナー
- ② 情報システム基礎セミナー
- ③ システム運用管理セミナー
- ④ 電子文書管理セミナー

(2) 受講者のコメント

受講者アンケートには、次のようなコメントがあった。

- ① 意見交流ができたのでとても有意義であった。

- ② グループ討議では、他の市町の実状等が聞くことができ、大変有意義なセミナーであった。
- ③ グループ討議では、各市の人がどんな目的でこのセミナーに参加しているのかわかり、同じような課題を抱えて参加しているのが分かって良かった。その中でも、1つ2つヒントとなるようなことが得られて有意義であった。
- ④ グループ討議は、担当していないテーマであったためあまり発言できなかったのが残念であった。
- ⑤ 他のグループで話し合った内容などを参考に知りたかった。また、グループ討議の時間をもう少し長くしてほしい。

3 受講者アンケートについて

平成19年度までは、科目内容の参考の度合いと、講義時間の長短について実施したが、教育研修セミナー内容をさらに充実させるため、アンケート項目を見直し、今年度から内容の理解度と有用度について実施している。

20年度： 理解度と有用度の5段階評価

理解度：内容は理解できましたか。

有用度：今後の業務に役に立つと思いますか。

19年度： 科目内容 → 参考になった・普通・ならなかった

科目時間 → 長い・ちょうど・短い

4 情報化研修支援事業について

行政の情報化や地域の情報化等を進める市町村の人材育成に資するため、市町村が単独もしくは近隣の市町村と合同で開催する研修（電子自治体の推進、IT利活用に関する取り組み等を内容とするもの）について、当面3団体程度を選定の上実施する。

団体の選定にあたっては、過去6年度において当センターが実施する教育研修セミナー、eラーニングの受講、講師の派遣及び研修支援等の利用実績がない団体を優先し、研修に要する講師旅費、講師謝礼、会場借上料（主として公共施設等）、テキスト印刷等に係る経費について、当センターが負担することとしている。

開催予定： 和歌山県岩出市、石川県小松市

5 修了証について

今年度は、開催期間が2日間、3日間の教育研修セミナー受講者を対象に、当センターで印刷した修了証を終了時に手渡ししている。

来年度は、教育研修セミナー終了後受講者が、各自団体のパソコンから修了証をダウンロードできるようにする。

6 教育研修セミナー実施状況について

平成21年1月末日現在の実施状況は、次のとおりである。

開催回数： 49回／54回

受講者数： 2,387人

平成21年度教育研修事業等

1 教育研修セミナーの推移について

区 分	平成21年度(案)	平成20年度	平成19年度
教育研修セミナー種類	20セミナー	18セミナー	16セミナー
開催回数	56回	54回	50回
うち、地方開催・回数	4地域、19回 仙台(1)、名古屋(1)、 大阪(13)、福岡(4)	4地域・18回 仙台(2)、名古屋(1)、 大阪(12)、福岡(3)	4地域・16回 仙台(1)、名古屋(2)、 大阪(10)、福岡(3)
延べ日数	153日	147日	133日
募集定員 (a)	2,760人	2,756人	2,730人
受講者数 (b)	2,760人	2,387人	2,304人
東京開催	1,842	1,607	1,609
地方開催	918	780	695
受講率 (b/a)		87%	84%

(注) 平成20年度の受講者数は、1月末日現在の実績である。

2 新規教育研修セミナーについて

平成21年度は、次のとおり新たな教育研修セミナーを実施する予定である。

- ① IT基礎セミナー
- ② システム監査基礎セミナー
- ③ 情報コーディネーター基礎セミナー

3 教育研修セミナーテキストの公開について

平成20年度教育研修セミナーで使用したテキストの一部を当センターホームページの会員コーナーで公開する予定である。

4 ブレンディング研修について

特定の教育研修セミナーについて、集合研修の開催前にeラーニングによる基礎的な知識学習ができる教材を提供し、集合研修では演習を中心に、より実務に添った内容とするセミナーを実施する予定である。

5 情報化研修支援について

平成21年度についても前年度と同じ内容で実施する予定である。

平成21年度セミナー一覧

(案)

セミナー	目 的	期間 (日)	定員 (人)	開催回数(回)	
				東京	東京 以外
新任情報化管理者セミナー	情報化担当部門の新任管理者を対象に、情報化の基礎的な知識及び管理者として必要なシステム管理の内容を理解し、地方公共団体における効率的で効果的な情報化の推進方策を修得する。	2	50	2	1
I T基礎セミナー	コンピュータやネットワーク、オフィスツール及び情報セキュリティに関する基礎的な用語及び事項を解説し、I Tについて基本的な知識を修得する。	2	50	2	
情報システム基礎セミナー	情報ネットワーク及び情報システムの動向や開発・管理等の体系的な基礎知識並びに情報化に伴う課題と対応など、情報化に対する幅広い知識を修得する。	3	50	3	2
ネットワーク基礎セミナー	ネットワークに係る技術用語、およびネットワーク構成要素や仕組みについて基本的な知識を修得する。	3	50	2	3
システム企画セミナー	信頼性の高い情報システムを構築するため、現状分析や業務分析などで問題点を洗い出しシステム化の方向性・最適化を探り、システム化計画の立案から策定までのプロセスについて演習を通して修得する。(昨年度までの開発計画セミナーの内容を刷新したもの。)	3	42	1	1
研修企画セミナー	職員研修の一環としての情報化研修の在り方を探るもので、情報化推進計画に基づいた情報化研修の企画に必要な知識について、演習を通じて修得する。	3	42	1	
業務改善・改革セミナー	I Tを活用して効率的で効果的な業務運営を図るため、部門や組織全体の問題点を見直し、業務改善、改革を推進するため演習にE A手法を取り入れ修得する。	3	48	2	2
情報化政策セミナー	情報化の推進を効率的かつ円滑に進めるため、運営管理の基本的な事項及び今後の情報化に対する考え方等について、理解を深め修得する。	3	42	3	1
システム開発セミナー	システム開発の概要を理解し、新たに構築又は再構築を行ううえで重要となる開発技法及び管理技法について、近年の技術動向も踏まえながら演習を通じて修得する。	3	48	2	
ネットワーク応用セミナー	ネットワークに係る要件定義や設計、構築、運用保守等について知識を修得する。	2	50	2	1
電子文書管理セミナー	文書の作成、伝達、利用、保管、さらに廃棄に至るまでの一連の流れを電子化する文書管理システムについて、その動向を把握しシステムを構築する手法等を修得する。	2	50	1	
システム運用管理セミナー	情報システムの信頼性及び安全性の向上を図るため、運用管理の基本事項を理解し、さらにアウトソーシングなど最近の運用管理についても習得する。	3	70	2	1
委託管理セミナー	情報システムの開発及び運用等の管理業務において外部委託が増加していることに対応し、業務の委託を円滑かつ効率的に進めるため、ユーザ主導の進め方、契約時の留意点及び評価の考え方等を修得する。	3	48	2	2
プロジェクト管理セミナー	システム開発におけるプロジェクト管理の必要性を理解し、開発計画の策定や進捗管理等を的確に行うため、プロジェクトチームの編成方法や具体的な手法について演習を通じて修得する。	3	42	2	1
システム監査基礎セミナー	システム監査を実施する必要性や目的を理解し、システム監査の基本的な事項について、演習を通して修得する。	2	48	1	
調達管理セミナー	情報システムを調達するうえで必要となる調達事務のプロセス、調達管理の留意点、要求仕様書等の調達計画書の作成方法及び調達管理の問題点等を修得する。	3	48	2	1
情報コーディネート基礎セミナー	情報システム構築プロジェクトを推進するうえで必要となる広範囲なマネジメント能力の基礎について、演習を通して修得する。	2	48	2	
情報セキュリティセミナー	情報セキュリティを安全かつ適切に運用・管理するため、情報セキュリティのマネジメントや情報資産の管理及びリスクへの対応並びに技術的対策や運用管理対策の留意点について、演習を通じて理解をし修得する。	3	42	2	2
情報セキュリティ監査セミナー	情報セキュリティ監査を実施する必要性や目的を理解し、情報セキュリティ監査基準等の諸制度を体系的に把握するとともに、情報セキュリティ内部監査を中心にその体制及び手順等の留意点を修得する。	3	48	2	1
トピックスセミナー	I Tを活用して情報化を推進するうえで重要となる国の電子化政策や最新の技術動向などについて認識を深める。	1	100	1	
合 計				37	19

セミナー体系図 (案)

